

みずのとう

令和5年(2023) 癸卯

— 前進、飛躍の年に —

ウサギは、月の使いとも言われ、「ツキを呼ぶ」縁起のいい動物と信じられ、飛び跳ねる=飛躍、子沢山=豊穰・子宝・安産、長い耳でさまざまな情報を集め、お仕事での成功や福を導いてくれます。さらに優しく、穏やかな性格から人間関係の円満や平穏無事の御利益があるとも言われています。

しかし、そんなウサギも日本神話「因幡の白兔」や童話「ウサギとカメ」では、相手を騙す動物として登場し、一度大変な目に遭ってしまいます。それでも善い行いをすることで、いつしか良いこととなって戻って来ます。

“寅年”の一年を振り返りながら、皆様方には清々しい新年をお迎えください。



卯年 特別御朱印
「御神矢 波乗りウサギ」

招福えと『卯』

“御神矢”を口にした新年の主役。その年の干支は、願い事を神様にお伝えし、御利益をお届けしてくれます。特にウサギは、決して後退せず、常に前向きに飛び跳ねることから、前進・飛躍の縁起の良い干支です。ご家庭にお飾りいただき、開運招福をお祈りください。

越中総鎮守一宮 射水神社



御神矢神楽 特別祈願のぶこ案内

一年の節目 人生の節目 はじまりは射水神社から



ごしん や かぐら 「御神矢神楽」

災難・災厄を祓い除ける力
は、破邪顕正の「白羽の矢」
を手にした巫女が御神前で
神楽を舞い、神様の御力
「御神威」をお授けします。

初詣にお越しの皆さまへ

心ひとつに、感染予防に努めてまいります

「新しいお参りのかたち」を取り入れ、初詣も万全の感染症対策でお待ちいたしております。
ご家族お揃いでお参りください。

「2つの神殿」でお祓いを奉仕



「本殿」「祈願殿」の2箇所でお祓いを奉仕いたします。密集やお待ち時間が大幅に緩和されます。

建物内の換気はもちろん、安心・安全な距離を保ち、ゆったりとお座りいただけます。
マスク・防寒着を着用してお参りください。

衛生管理の徹底



「授与所」「受付・控室」「社殿入口」「絵馬書き所」など、各所に消毒液を完備します。

お祓いの後、座席の消毒を行い、控室も同様に消毒を行います。

臨時「授与所」「おみくじ所」を増設



混雑を緩和しつつ、お守り・縁起物をお受けいただけるよう「初詣授与所」を増設します。

破魔矢などの縁起物は、「節分」の2月3日頃まで毎日お受けいただけます。

笑顔でお参りいただくために



神職・巫女を始め奉仕者は、マスクを適切に着用して、「笑顔・笑声」で応対いたします。

ご自身での予防もお忘れなくお参りください。



吉例 木遣り・纏振り 奉納

富山県若鷲会

1月2日(月) 午前9時30分

江戸木遣りが響く初春の古城の杜に、勇ましく纏が振られ、富山県下における新年の無病息災の祈りが込められます。



左義長 射水の火祭り

1月14日(土) 午後5時 [午後8時頃まで]

古式の火鑽具によって、忌火(清浄な火)を起こし、やぐらに点火、お正月飾りやお守り、書き初めなどを焼き上げます。御神火にあたると一年が無病息災と伝えられます。

令和5年は、左義長やぐらを従来の規模とします。
混雑が予想されますので、各自でも予防いただき、最新情報はHPをご確認ください。

お受けできるもの

お神札・お守り・縁起物[破魔矢・熊手・ダルマなど]
しめ飾り・書き初め など

- 神棚は、焼納初穂料として3,000円以上をお納めください。
- ご持参された古いお神札は、必ず神職・係員にお渡しく下さい。

お受けできないもの

年賀はがき・仏具・写真・祝儀袋・鏡餅のプラスチックケース・人形など
● むいぐるみなどは、毎年6月30日の「人形感謝清祓式」でお預かりしております。

天神様(掛け軸・井波彫刻・土人形)

1月25日～31日の期間にお納めください。

- 焼納初穂料として、一体につき3,000円以上をお納めください。

初詣交通規制 12月31日 午後11時～1月1日 午後7時

飲酒運転やめて、シートベルト着用の徹底すがすがしい初詣を



1. 警察官・交通整理員等の指示、及び案内標識に従ってください。
 2. 指定駐車場以外の場所は駐車禁止です。
 3. スノータイヤ・チェーンを忘れないでください。
 4. 降雪の量等によっては、規制を変更することもあります。
- 駐車場(終日満車)
 - 臨時駐車場(混雑)
 - 臨時駐車場(終日空車)
 - 車両通行禁止
 - 一方通行
 - 迂回路
 - 公共便所
 - 臨時一方通行
 - 混雑予想路線
 - バス停
 - 車両進入禁止

◆北口・小竹藪駐車場は終日満車となりますので、迂回路より公園周辺の臨時駐車場(無料)をご利用ください。
◆旧市民会館駐車場は、解体工事のため使用できません。

御神矢神楽 特別祈願について

一年の節目 人生の節目 感謝と祈りを込めて 霊験あらたかな御神前へ



2つの社殿でお祓いを行います。
混雑を避け、待ち時間も大幅に短縮されます。



受付

令和5年 元日

新年一番祈願 午前0時 斎行 [受付は午後11時~]

新年祈願 受付後、随時奉仕 午後5時まで

2日以降 午前9時 ~ 午後5時 [年中無休・毎日奉仕/時間外は、お電話でお問い合わせください]

大鳥居脇「参集殿大玄関」よりお入りいただき、受付で「申込用紙」にお名前・ご住所等をご記入の上、祈願初穂料・お供えを添えてお申し込みください。

祈願初穂料 全ての御祈願に御神威[お力]を頂く『御神矢』を授与いたします

個人

(1つのお願いごとにつき) **予約不要**

祈願 6,000円 より志

大祈願 10,000円 より志

特別祈願 15,000円 より志

御神酒2升をお供えの方には、1升をお清め酒・お祝い酒としてお返しします。鏡餅をお供えされた場合も半分をお返しします。

会社・企業・団体

(職場安全・商業繁栄・社運隆昌等) **要予約**

20,000円 以上志

「御神酒2升」を添えてお供えください。

依頼祈願 遠方・自宅からのご祈願(お祓い)

ご祈願(お祓い)は、神社に参拝して直接お受けいただくのが本来ですが、**遠方にお住まいの方**、また**諸般のご事情によって参拝が叶わない皆様**には**郵送でのご祈願**のお申し込みを承っております。

御神前にて、ご祈願奉仕の上、おさがり[おふだ・お守り・御神矢・絵馬等]をお送りします。
(※おさがりは、小正月・左義長以降、発送します)

祈願初穂料
6,000円 より志

お申込みフォームはこちら▶



願意 —おねがいごと—



神恩感謝 開運福德 日々の生活を神様に感謝し、今後もお守りをいただき、平穏無事に暮らせるように祈ります。御祭神の「天孫降臨」神話に由来し、進む道を切り拓き、幸福を招きます。

家内安全 家門繁栄 ご家族全員のお名前を祝詞で読み上げ、一年間の平穏無事、心身健全、無病息災、子孫繁栄を祈ります。

五穀豊穰 商業繁栄 商売・営業をされている方はもとより、全ての産業、農林水産商工営業などの益々の繁栄を願います。

社運隆昌 営業繁盛 会社・店舗や現場での無事故と営業の機運を高め、さらなる飛躍と発展を誓い祈ります。

除災招福 災難災厄を祓い除け、幸福を招くため、神様の御力をいただけるよう祈ります。

学業成就 試験合格 日頃の学びの成果や、身に付けた実力を発揮出来るように決意を新たに、目標とする試験に合格できるよう祈ります。

必勝祈願 各種団体・組織・チームの目標をはっきりと定め、その達成に向けての努力を誓い、神様の御力をいただけるよう祈ります。

子授け 安産 初宮詣 七五三 心身健全 病氣平癒 良縁 交通安全 海上安全 大漁祈願 など

厄年祓 (厄除け) 古くから「節目の年齢」として、これまで無事に過ごしてきたことへの感謝と、今後の健康を願い、厄年期間中の災厄を避けられるようお祓いします。
厄年以外で、厄除けを希望される方は、「除災招福」のご祈願をお受けください。

身祝い (年祝い) 人生の節目にあたり、古くから目出度いとされる歳のお祝いです。神様への感謝と、さらなる健康長寿への願いを込めて、お祈りします。ご家族皆様で神様に感謝の気持ちをお伝えしましょう。

家族絆祈願 厄年祓・身祝いに際して、ご家族全員のお名前を祝詞で読み上げ、家内安全と無病息災をお祈りします。
(上記の祈願料+3,000円から)

厄年祓

本厄	42歳 男 昭和57年生 戌
	37歳 女 昭和62年生 卯
	33歳 女 平成3年生 未
	25歳 男 平成11年生 卯
19歳 女 平成17年生 酉	

前厄	41歳 男 昭和58年生 亥
	32歳 女 平成4年生 申
	24歳 男 平成12年生 辰
	18歳 女 平成18年生 戌
後厄	43歳 男 昭和56年生 酉
	34歳 女 平成2年生 午
	26歳 男 平成10年生 寅
	20歳 女 平成16年生 申

厄明け御礼参り

右の後厄の翌年に厄年期間を無事に過ごせたことの御礼参り

身祝い (男女)

還暦 (かんれき)	61歳	昭和38年生	卯
古稀 (こき)	70歳	昭和29年生	午
喜寿 (きじゅ)	77歳	昭和22年生	亥
傘寿 (さんじゅ)	80歳	昭和19年生	申
米寿 (べいじゅ)	88歳	昭和11年生	子
卒寿 (そつじゅ)	90歳	昭和9年生	戌
白寿 (はくじゅ)	99歳	大正14年生	丑
上寿 (じょうじゅ)	100歳	大正13年生	子

かぞえ年で記載しておりますが、満年齢でもお祓いできます。かぞえ年とは、生まれた年を「1歳」とし、お正月を迎えるたびに、神さまから新しい年をいただき、1つずつ年齢を重ねる数え方です。

ご祈願の前に

問 初穂料とは？

答 初穂料は、祈願料のことで、のし袋（封筒でも可）の上部に「初穂料」や「玉串料」と書きます。御神酒をお供えする場合は「奉献」「御神酒」と書かれたのし紙を巻きます。



(お酒)

問 予約は必要ですか？

答 ご予約は必要ございません。年中休みなく、毎日受付・奉仕を致しておりますので、ご予約日に直接神社へお越しください。お一人様はもちろん、ご家族様も一緒にお参りいただけます。（企業・団体でお参りされます場合は、社殿を貸し切つての参拝となりますので、事前のご連絡をお願い致します）

問 ご祈願時の服装は？

答 神社にお参りする際の服装は基本的に自由ですが、ご祈願（お祓い）は、神様のいらっしゃる社殿に上り、御神前で日々の感謝を伝え、祈りや願いの成就に向けて自分自身も努力することをお誓いする大切な時間です。普段着でもお参りいただけますが、本来、男性はスーツにネクタイ、女性の場合もあらたまった服装でお参りします。年末年始の寒い季節は防寒着をご用意ください。マスクも着用したままお参りください。

問 御礼参りって？

答 古くから日本では、お願い事が成就した際や、一年間を無事に過ごせたことへの感謝として、神様に「お礼のお参り」「神恩感謝」をする習慣があります。日々のご守護に感謝し、神様への成就奉告を行い、今後も清々しく健やかな心身で暮らせるようお参りします。なお、ご祈願の際に受けられたお神札やお守り、授与品がありましたら、この時にご返納ください。

ご祈願の後に 神様のお力と、ご守護を最大限にいただくために

皆様のご祈願の旨を御神前に謹んでお祈り申し上げ、「お神札」・「御神矢」・「お守り」を授与いたします。射水の大神様は、古くより最も神威霊験ある「名神大社」として、広く全国から尊崇され、また越中国一宮・郷土の大守護神として、越中・富山の国域、また富山県民の「ふるさとの守り神」として親しまれています。

『**祈禱神璽**』は「**祈り**、を込めた特別な**「お神札**」、『**御神矢**』は「**お力**、をいただく特別な**「破魔矢**」です。

「お神札」を紙袋よりお出しいただき、ご自宅や居室、会社・店舗・職場でお祀りされている「神棚」にて、「天照皇大神宮」（伊勢の神宮大麻）、「射水神社」（神符）と共に並べてお祀りください。

神棚の「宮型」をまだ設けてない際には、居室の窓際や書棚、タンス、サイドボード等、清浄で明るい適宜な場所に、並べて立て掛けてお祀りいただいても結構です。

災厄を祓う「御神矢」・開運招福「熊手」等の縁起物は神棚や玄関など、目立つところにお飾りします。



「神棚」に祈願のお下がりをお祀りする場合（一例）



「神棚がない」場合の祈願お下りの祀り方（一例）



「神棚」をお持ちでない方へ「お神札立て」（初穂料 500 円）

問 初穂料によりお神札の大きさが違うとのことですが、大小によって御利益は異なるのですか？

答 お神札の大きさにより、「御神威」（神様のお力）が異なることはありません。何よりも大切なことは、日々「おまつりをする心」です。神様への感謝、祈りの気持ちでお納めする初穂料はそれぞれ異なりますので、皆様のご奉賛のお気持ちに添うべく、お神札の大きさを変えております。神社からの距離が離れた家庭や会社からでも、毎日、神社を遙かにお参りするのために「お神札」があります。また、常に身近にあって、身心をお守りいただくためにあるのが「お守り」です。お神札やお守りを通して、朝夕に神様へ感謝・祈りの気持ちをお伝えし、神様を身近にお参りすることで、お力とご守護をいただくことが出来ます。



左から祈願・大祈願・特別祈願のお神札

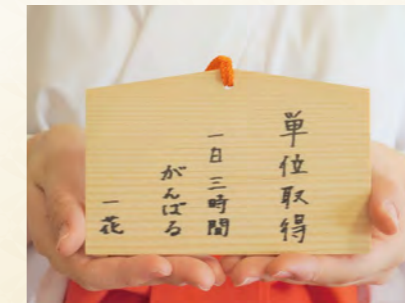
『お守り』は、普段より、身につけてお持ちください。

『**絵馬**』は、ご自身の「**願い事**」と「**誓い事**」の両方を謹書し、**神棚**・「**お神札**」の前にお掛け・置いてください。

願い事と共に、誓い・頑張る事・取り組む決意・目標等、両方を書かれることが、御神威をさらにいただくための切っ掛けとなり、日々の生活の指標ともなります。後日、射水神社にお参りの際、境内の「絵馬掛け所」にお納めください。



御神矢「干支木札」の裏面に「願意」「お名前」「祈願日」をご自身でお書き入れいただくことで、目標や進むべき道が定まります。



「絵馬」には、願い・目標とともに、ご自身の決意や誓いを書き添えますと、より一層、気力が湧き上がります。



「撤饌」がある場合は残さずいただき、神様のお力を「自身の力」に加えます。

『**撤饌**』とは、「お供え物のお下がり、という意味です。

お渡しする御品（神酒・昆布・御塩等）は願意により異なります。これらは実際に食することで神様からのお力をいただく「直会」として大変重要な儀式です。神棚・「お神札」にお供えされた後、「いただきます」の心でお召し上がりください。

ご祈願の成就・達成の折、または一年間を目処として、年末には感謝の祈りを込めて、毎年1月14日齋行の「左義長（射水の火祭り）」で、おふだ・お守りをお納めください。初詣で新たなお神札・御神矢・お守りをお受けになり、さらなる「御神威（神様のお力）」をいただきます。

ご不明な点は お電話にて お問い合わせください (0766) 22-3104

【個人祈願での予約はおりません。団体のみ予約】